

みなとオアシス登録施設の配置計画に関する研究

(研究期間：令和3年度)

沿岸海洋・防災研究部 沿岸域システム研究室 研究官 小松崎 真彦



(キーワード) みなとオアシス、立地条件、数量化Ⅲ類

1. はじめに

みなとオアシスとは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、国土交通省港湾局長が申請に基づき登録するものである。¹⁾ 旅客施設、交流・休憩、物販・飲食を提供する複数の既存施設から構成される。(図-1)

みなとオアシスについては、アクセスしにくい、施設同士が離れて配置されているといった課題がある。これらは配置計画の観点から、どのように施設を登録すればよいかという課題と考えられる。

そこで、本研究では、全国148箇所(令和3年4月30日時点)のみなとオアシスを対象として、みなとオアシスの施設機能による類型化を行ったうえで、施設配置についてアクセス性と周遊性の観点から分析を行い、留意点について検討した。

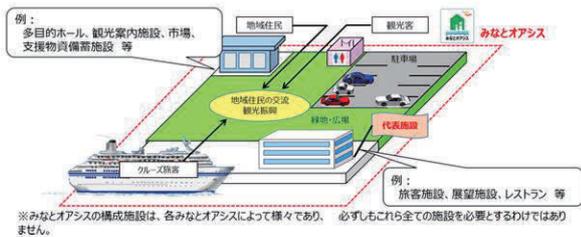


図-1 みなとオアシスの施設の例¹⁾

2. みなとオアシスの類型化

みなとオアシスの類型化は各施設の入居テナント等の情報を元に施設を12種類の機能(文化、商業、観光情報、地域交流、展望・休憩、余暇、研修・業務、旅客ターミナル、緑地・海岸、港湾・漁港、防災、駐車場)に分類し数量化Ⅲ類分析を実施した。

分析の結果、第1軸(縦軸)の正側には防災、研修・業務、地域交流といった施設が、負側には観光情報、余暇といった施設が布置されたことから、第1軸は施設利用者の属性を表していると解釈した。第2軸(横軸)の正側には旅客ターミナル、負側には観光情報、余暇といった施設が布置されたことから、第2軸は施設利用目的を表していると解釈した。(図-2)

第1軸と第2軸における各みなとオアシスのサンプルスコアからクラスター分析(ウォード法、ユークリッド距離)を行い、各象限に散布されたみなとオアシスを分類整理すると、

- ・観光情報、商業、余暇機能を主とする観光集客型
- ・フェリー、離島航路を多く有する海上交通拠点型
- ・地域住民の利用を主とする地域交流型

の3パターンに分類することができた。(図-3)

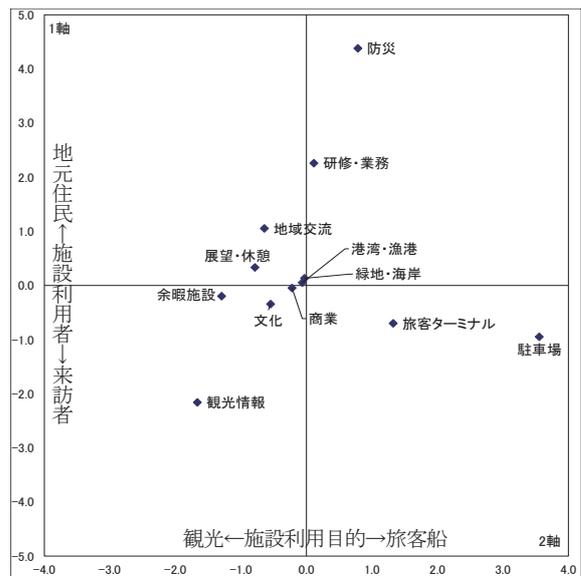


図-2 数量化Ⅲ類分析の結果

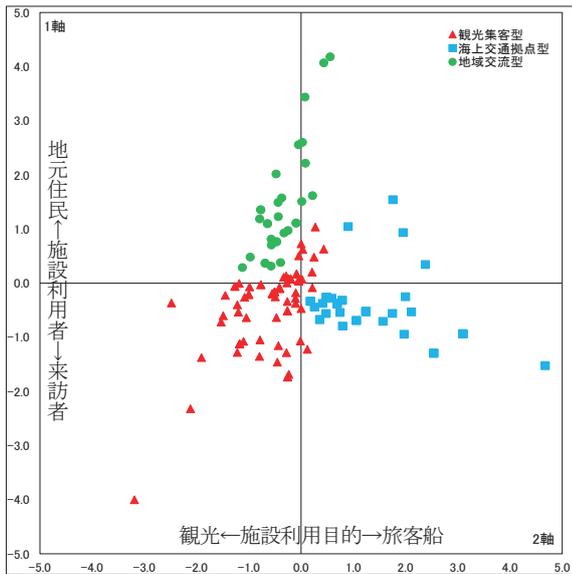


図-3 数量化Ⅲ類のサンプルスコアのクラスター分析結果

3. 立地条件（アクセス性、周遊性）に関する分析

みなとオアシスのアクセス性、周遊性を把握するため、最寄り鉄道駅から代表施設までの直線距離と代表施設の半径500m範囲内に含まれる構成施設の割合（以降、集積度と呼ぶ）を分析し、駅から代表施設までの直線距離と集積度の関係より4つのタイプに分類した。（図-4）

左上Aの部分（徒歩圏500m以下、集積度70%以上）は、駅近／密集タイプと分類した。このタイプは駅から近く、施設もまとまっており、来訪者が徒歩で行きやすく、周遊しやすいと考えられる。

Bの部分（徒歩圏500m以下、集積度70%以下）は駅近／分散タイプと分類した。このタイプは駅から近く代表施設には行きやすいが、構成施設が離れているため周遊はしにくいと考えられる。

Cの部分（徒歩圏500mを超え、集積度70%以上）は駅遠／密集タイプと分類した。このタイプは駅からは遠く、車などによる来訪が想定されるが、施設がまとまっており周遊はしやすいと考えられる。

Dの部分（徒歩圏500mを超え、集積度70%以下）に関しては駅遠／分散タイプと分類した。このタイプは駅からも遠く、施設もまとまっていないため、車などによる来訪、周遊が想定される。

Bの駅近／分散タイプに属する観光集客型のみならずオアシスは、集客機能を有する代表施設に来訪者を集めても、施設が分散しているため構成施設まで代表施設に集客した来訪者を誘導できず、一部地域のみ活性化になる可能性がある。このような場合は施設間を連携させるため、

- ・施設に関する情報提供+駐車場の設置
- ・プロムナード等による連携
- ・一定距離ごとに集客施設を配置

以上のような仕組みを検討することが必要である。

Dの駅遠／分散タイプはアクセス、周遊の方法として車等の使用が考えられる。このタイプに属する場合、海上交通拠点型であれば離島へのアクセス拠点、地域交流型であれば地元住民の憩いの場や拠点としての使用が考えられ、駅から離れており、施設が分散していても大きな問題にならない可能性がある。一方、観光集客型の場合は駅近／分散タイプと同様に、一部地域のみ活性化になる可能性があり、みなとオアシスによる地域活性化を考えている場合は注意が必要である。

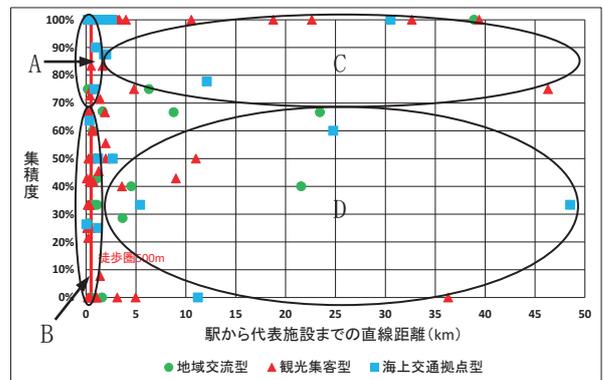


図-4 集積度と駅から代表施設までの直線距離の関係

4. おわりに

今後は、敷地レベルにおける施設の平面配置、断面構成を含めた分析を行う予定である。

☞ 詳細情報はこちら

- 1) みなとオアシス全国協議会：みなとオアシスハンドブック【増補版】、2019